



Vol.19- 20 平成 27 年 7・8 月 合併号

NPO メンバーの情報共有のためのニュースレターです

6 月 28 日 (日)、通常総会が無事おわりました。

7 月 4~5 日 (土・日)、「第 21 回全道フットパスの集い in なんぼろ」が無事に開催されました。11 市 12 町村 (札幌市、旭川市、千歳市、釧路市、美唄市、滝川市、岩見沢市、江別市、恵庭市、石狩市、東京都町田市、西興部村、豊富町、浦幌町、黒松内町、ニセコ町、平取町、様似町、えりも町、白老町、栗山町、当別町、南幌町 ) から約 180 名の参加がありました。皆さまの御理解・御協力に深く感謝申し上げます。

7 月 9 日 (木) 北の縄文セミナー「キウス周堤墓群の魅力」に参加しました。長都沼とキウス遺跡との間に集落があったことなど理解を深めました。キウス遺跡は、ロングトレイル「縄文古道と松浦武四郎が観た世界」の通過地点です。昨年、トイレが設置されました。

7 月 11 日 (土)、12 日 (日) eco 田んぼの草取りを行いました。参加者は延べ 11 名でした。

7 月 19 日 (日)、月例フットパス「幌向運河下り」を開催しました。24 名で運河下りを満喫しました。昼食のジンギスカンも盛況でした。台湾・中華大学から訪日中の研修生 2 名も参加し、賑やかな一日となりました。(研修生の皆さんは、8 月 21 日まで美唄市に滞在されています。全 7 名。)

7 月 20 日 (月)、損保ジャパン日本興亜株式会社と日本 NPO センター、北海道 NPO サポートセンターが連携して行う「SAVE JAPAN プロジェクト」において、北海道開発局「石狩川下流幌向地区自然再生事業地」と南幌町有地「幌向原野湿性植物群保護地」を会場に、野外活動イベントを開催しました。新夕張川河川敷にて湿原再生事業の説明を行ったのち、約 3 キロのフットパスを歩いて町有地でジンギスカンを楽しみました。昼食後、湿原のササ刈りを行い、来年度の植生の変化に期待を膨らませました。(講師 : 坂元直人氏 環境省 環境カウンセラー登録者 )

これからの予定 :

### 北海道科学大学生が南幌に訪れます 日にち: 7 月 29 日 (水)

「第 21 回全道フットパスの集い in なんぼろ」にてご尽力いただいた、北海道科学大学人間社会学部 (梶谷崇・碓山恵子ゼミ) の山口純弥さん、石塚隆聖さん、松葉将吾さん、大西慶さん 4 名と、エコネットワーク代表代行の小川浩一郎さんと共に、慰労を兼ねた反省会を行います。

集合場所: 幌向運河・後藤橋

会場: 後藤橋付近 (運河下り昼食会場と同じ場所です )

## 調査船「弁天丸」での河川調査 日にち:8月3日(月)

北海道開拓当初の「国道」であった石狩川を、札幌開発建設部が所有する調査船「弁天丸」で迎えます。江別河川事務所の方、ガイドとして乗船する予定です。

集合場所・時間:8月3日(月)9時30分 午前江別河川防災センター(江別市大川通6,011-381-9177)

(航行ルート)

1000 出航 江別河川防災センター 石狩川河口 1200 川の博物館 (「佐藤水産」等で各自昼食)  
1330 川の博物館 1500 帰航 江別河川防災センター

## 南幌町まちづくり支援事業「ササ刈りプロジェクト」を実施します 日にち:8月8日(土) 予定

ふらっと南幌は、3年前に「幌向原野湿性植物群保護地」(以下、「幌向湿原保護地」と省略)を南幌町から借受けています。「幌向湿原保護地」は、昭和40年代に幌向湿原の植生を保護する目的で、当時の町が取得した原野です。現在では乾燥化が進んでササやヨシが増え、外来種も広範囲に侵入するなど、本来保護すべき植生が大きく変化しています。そこで、試験的にササ刈りを行って地面に光を入れ、かつて幌向湿原に生えていた植物のタネが目覚める環境を整備し、来年度の植物にどのような変化が起きるか調べます。

## 月例フットパス「鶴沼・野鳥観察フットパス」 日にち:8月16日(日)

「ぐるっと南幌リバー」コースの旧夕張川に位置する「藤田渡船場」を歩きます。

集合場所:南幌町ふるさと物産館「ビューロー」(南幌町中央1丁目2-2,011-378-7010)

集合時間:午前10時

コース:

ビューロー 第五閘門 藤田渡船場 笹川農園ブルーベリー畑に寄りながら・・・ ビューロー

## SAVE JAPAN プロジェクト「ラムサール条約登録湿地・大沼を歩く」を開催 日にち:8月30日(日)

湿原環境を地域の産業として発展させていく取組みを体験します。2012年にラムサール条約登録湿地に認定された大沼は、雄大な自然環境とそこに生息する動植物を有し、将来に残すべき貴重な財産となっています。一方で、登録認定される以前から自然とふれあう施設が整備されており、遊歩道や遊覧船などを通じて自然を身近に楽しむこともできます。南幌町らしい「湿原再生」に向けて、貴重な自然環境を地域の産業として展開していく方向を探ります。

集合場所・時間:(南幌町より乗車する場合)8月29日(土)午後14時、南幌町ふるさと物産館「ビューロー」

(当日参加する場合)8月30日(日)午前9時、函館本線「大沼公園駅」前 駐車場

開催時間:8月30日(日)午前9時30分～午後1時頃 南幌町到着は午後6時を予定

主な内容:大沼公園フットパス・ウォーク 大沼遊船に乗船 総括(アンケート等)

費用:500円(宿泊費&南幌～大沼間バス代込み) 食事代は各自でご用意ください

【お問合せ・お申込み先】ギャラリー喫茶「風樹」011-378-0751(受付時間:午前10時～午後6時、水曜除く)

以下の催しにつきましては、9月ニュースレターにて詳細をご案内いたします。

## eco 田んぼ「稲刈り・はざかけ」 日にち:9月19日(土) 「収穫祭」は10月4日(日)

## 月例フットパス「秋本番 南幌野菜直売所巡りフットパス」 日にち:9月20日(日)

何かとお忙しい中とは思いますが、皆様のご予定調整・可能な限りの積極的なご参加を、何卒、よろしくお願い致します。

以上に関するお問合せ先 :090 - 3891 - 6675 近藤長一郎(事務局統括)